

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	バルテス株式会社
【英訳名】	VALTES CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田中 真史
【本店の所在の場所】	大阪市西区阿波座1丁目3番15号
【電話番号】	(06)6534-6561(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 西村 祐一
【最寄りの連絡場所】	大阪市西区阿波座1丁目3番15号
【電話番号】	(06)6534-6561(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 西村 祐一
【縦覧に供する場所】	バルテス株式会社 東京本社 (東京都千代田区麹町一丁目10番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第2四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	2,290,982	3,279,146
経常利益 (千円)	90,213	187,182
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	61,513	147,961
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	61,743	147,061
純資産額 (千円)	1,083,921	414,708
総資産額 (千円)	1,786,824	1,167,780
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	9.33	25.08
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	9.24	-
自己資本比率 (%)	60.7	35.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	18,385	248,581
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	41,386	54,138
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	547,303	91,733
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	797,197	272,969

回次	第16期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	9.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第15期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は第15期までは非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
4. 当社は、第15期第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第15期第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,455,829千円となり、前連結会計年度末に比べ573,260千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加524,227千円によるものであります。固定資産は330,995千円となり、前連結会計年度末に比べ45,783千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加51,068千円によるものであります。

この結果、総資産は1,786,824千円となり、前連結会計年度末に比べ619,044千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は692,393千円となり、前連結会計年度末に比べ13,435千円減少いたしました。これは主に買掛金の増加41,407千円、未払法人税等の減少34,915千円、その他の流動負債の減少28,998千円によるものであります。固定負債は10,510千円となり、前連結会計年度末に比べ36,732千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少36,081千円によるものであります。

この結果、負債合計は702,903千円となり、前連結会計年度末に比べ50,167千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,083,921千円となり、前連結会計年度末に比べ669,212千円増加いたしました。これは主に自己株式の処分による資本剰余金の増加584,772千円、親会社株主に帰属する四半期純利益61,513千円の計上による利益剰余金の増加、自己株式の減少22,697千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.7%（前連結会計年度末は35.5%）となりました。

(2) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善等を背景に国内の景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、東アジアの地政学的リスクや米中の貿易問題等、依然として先行きが不透明な状況にあります。

一方、当社グループが関連する情報サービス市場では、IoT、AI、フィンテック、5G等、IT技術の積極的な活用をテーマに企業の投資が拡大しており、今後もさらなる発展が見込まれております。また、それらの発展に伴うIT技術の高度化・複雑化により、ソフトウェアの品質向上やセキュリティ対策へのニーズも高まり続けており、第三者検証の専門企業の担う役割もさらに広がるものと考えております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループスローガンであります「VALTES for Quality Confidence（バルテスグループを通じてお客様の品質に対する自信を揺るぎないものに）」の下、高スキル技術者の確保とサービス品質の向上を重点課題と位置付けております。

技術者の確保に関しまして、多様な採用チャネルと外部協力会社との連携強化により技術者数が大きく増加しており、それに伴い2019年5月に東京第3テストセンターを開設、同8月に福岡オフィスを増床移転いたしました。また、サービス品質向上の点では、当社独自の研修プログラムが業界未経験者を含む新規採用者の短期間での安定稼働とJSTQB（1）の高保有率（入社2年目以降の正社員は92%超）に繋がっており、日本企業唯一のISTQB（2）グローバルパートナーとして、ソフトウェアテストの国際標準を意識した取組みを行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,290,982千円と堅調に伸長し、外注費、採用費、研究開発費等の増加を吸収した結果、営業利益92,899千円、経常利益90,213千円、親会社株主に帰属する四半期純利益61,513千円となりました。

1 「Japan Software Testing Qualifications Board」の略 テスト技術者の資格認定制度の運営団体

2 「International Software Testing Qualifications Board」の略 国際ソフトウェアテスト資格認定委員会

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、エンタープライズ領域の成長が全体を牽引し、技術者の確保も順調に進んだため、外部顧客に対する売上高は2,089,293千円、セグメント利益は114,950千円となりました。

Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、グループシナジーを活かした営業体制が奏功し、外部顧客に対する売上高は188,335千円、セグメント利益は16,987千円となりました。

オフショアサービス事業

当事業においては、一部案件の検収が第3四半期連結会計期間以降となった影響等により、売上高は13,353千円、セグメント損失は6,548千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末より524,227千円増加し797,197千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は18,385千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益90,213千円を計上し、仕入債務の増加額41,407千円等があった一方で、法人税等の支払額58,128千円、売上債権の増加額39,229千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は41,386千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出35,459千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は547,303千円となりました。これは主に自己株式の処分による収入603,585千円があった一方で、長期借入金の返済による支出55,961千円等があったことによるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は27,502千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,600,000
計	28,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,150,000	7,150,000	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また、1単元の株式数は100株であります。
計	7,150,000	7,150,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	7,150,000	-	90,000	-	265

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
田中 真史	大阪府守口市	3,847	55.73
バルテス社員持株会	大阪市西区阿波座1-3-15	764	11.07
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB) (常任代理人 野村證券株式会社)	1 ANGEL LANE, LONDON, EC4R 3AB, UNITED KINGDOM (東京都中央区日本橋1-9-1)	148	2.14
株式会社S B I証券	東京都港区六本木1-6-1	123	1.78
西村 祐一	大阪市西区	100	1.45
大園 雅嗣	大阪府柏原市	99	1.43
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE- AC) (常任 代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2-7-1)	57	0.84
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	53	0.77
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD (常任代理人 株式会社三菱UFJ 銀行)	1 CHURCH PLACE, LONDON, E14 5HP UK (東京都千代田区丸の内2-7-1)	50	0.74
CREDIT SUISSE AG, DUBLIN BRANCH PRIME CLIENT ASSET EQUITY ACCOUNT (常任代理人 クレディ・スイス証 券株式会社)	KILMORE HOUSE, PARK LANE, SPENCER DOCK. DUBLIN IRELAND DUBLIN1 (東京都港区六本木1-6-1)	41	0.60
計	-	5,284	76.55

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 245,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,903,500	69,035	-
単元未満株式	800	-	-
発行済株式総数	7,150,000	-	-
総株主の議決権	-	69,035	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
パルテス株式会社	大阪市西区阿波座1丁目3番15号	245,700	-	245,700	3.43
計	-	245,700	-	245,700	3.43

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、当四半期報告書は、第2四半期に係る最初に提出する四半期報告書であるため、前年同四半期との対比は行っていません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	292,969	817,197
受取手形及び売掛金	518,032	555,469
電子記録債権	10,860	12,576
仕掛品	14,641	17,111
その他	46,065	53,474
流動資産合計	882,568	1,455,829
固定資産		
有形固定資産	84,511	135,579
無形固定資産	7,248	6,642
投資その他の資産		
繰延税金資産	113,950	108,464
その他	79,502	80,309
投資その他の資産合計	193,452	188,773
固定資産合計	285,211	330,995
資産合計	1,167,780	1,786,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,263	114,670
短期借入金	86,500	86,500
1年内返済予定の長期借入金	49,063	29,183
未払金	258,443	275,009
未払法人税等	58,127	23,212
賞与引当金	72,240	84,627
その他	108,189	79,190
流動負債合計	705,828	692,393
固定負債		
長期借入金	42,331	6,250
その他	4,912	4,260
固定負債合計	47,243	10,510
負債合計	753,071	702,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	167,345	752,117
利益剰余金	183,373	244,887
自己株式	28,250	5,552
株主資本合計	412,468	1,081,451
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,240	2,469
その他の包括利益累計額合計	2,240	2,469
純資産合計	414,708	1,083,921
負債純資産合計	1,167,780	1,786,824

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)
売上高	2,290,982
売上原価	1,676,377
売上総利益	614,604
販売費及び一般管理費	521,704
営業利益	92,899
営業外収益	
受取利息	5
助成金収入	2,593
その他	122
営業外収益合計	2,721
営業外費用	
支払利息	561
支払保証料	995
株式交付費	3,553
為替差損	297
営業外費用合計	5,408
経常利益	90,213
税金等調整前四半期純利益	90,213
法人税、住民税及び事業税	23,213
法人税等調整額	5,486
法人税等合計	28,699
四半期純利益	61,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,513

【四半期連結包括利益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)
四半期純利益	61,513
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	229
その他の包括利益合計	229
四半期包括利益	61,743
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	61,743
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 2019年4月1日
 至 2019年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	90,213
減価償却費	13,030
賞与引当金の増減額(は減少)	12,394
受取利息及び受取配当金	7
支払利息	561
株式交付費	3,553
売上債権の増減額(は増加)	39,229
仕掛品の増減額(は増加)	2,492
仕入債務の増減額(は減少)	41,407
未払金の増減額(は減少)	11,360
未払消費税等の増減額(は減少)	11,433
その他	19,570
小計	77,065
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	559
法人税等の支払額	58,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	35,459
無形固定資産の取得による支出	2,334
敷金及び保証金の差入による支出	3,652
敷金及び保証金の回収による収入	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,386
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	55,961
自己株式の処分による収入	603,585
その他	321
財務活動によるキャッシュ・フロー	547,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	74
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	524,227
現金及び現金同等物の期首残高	272,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,197

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費および一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給与手当	142,555千円
賞与引当金繰入額	17,571
退職給付費用	5,005

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	817,197千円
預入期間が3か月を超える定期預金	20,000
現金及び現金同等物	797,197

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2019年5月30日に東京証券取引所マザーズに上場しており、それに伴い2019年5月29日を払込期日とする公募による自己株式の処分及び2019年6月28日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分を行っております。当該自己株式の処分等により、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が584,772千円増加、自己株式が22,697千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が752,117千円、自己株式が5,552千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,089,293	188,335	13,353	2,290,982	-	2,290,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,666	19,968	6,268	30,903	30,903	-
計	2,093,959	208,304	19,622	2,321,886	30,903	2,290,982
セグメント利益又は損失 ()	114,950	16,987	6,548	125,390	32,490	92,899

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 32,490千円は、セグメント間未実現利益の調整額89千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 32,580千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月 30 日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	9円33銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	61,513
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	61,513
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,593,657
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	9円24銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-
普通株式増加数 (株)	60,151
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

バルテス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嘉之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西方 実 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているバルテス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、バルテス株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。